
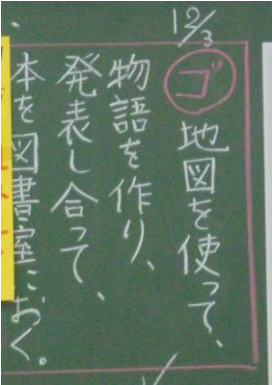
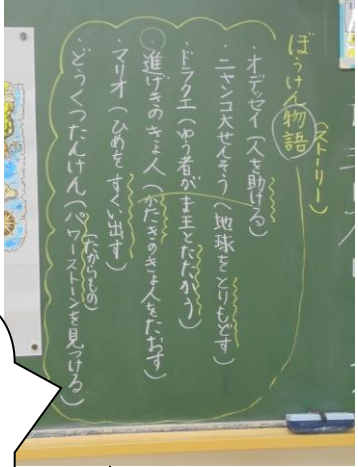
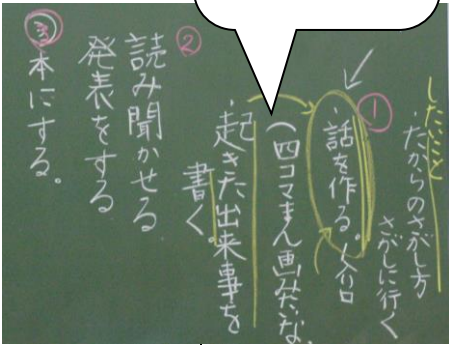


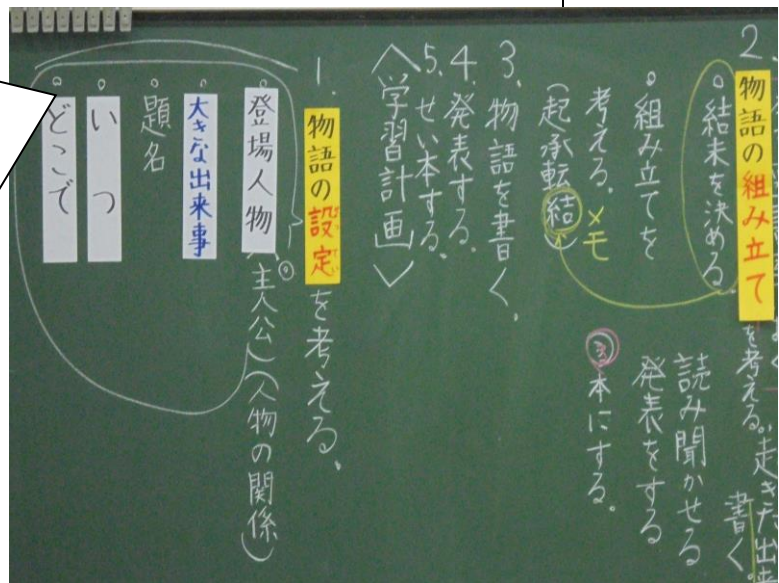
- 1 日時 12月3日 木曜日 第1校時
- 2 学年 第3学年 計8名 (場所 3年教室)
- 3 単元名 組み立てにそって、物語を書こう「たから島のぼうけん」
- 4 本時のねらい

○ 既習事項（前単元で学習した物語の組み立てをとらえながら読むこと）を生かして、進んで学習のゴールや学習計画を立て、単元全体の見通しを持つ。 【態】

5 学習展開

| 学習活動 | 指導上の留意点・発問 (○) | 評価規準 |
|---|--|---|
| <p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 冒険物語の想起を促し、創作したいという気持ちを持たせる。</p>  <p>3 単元のゴールを設定する。</p>  | <p>単元のゴールをつくり、学習計画を立てよう。</p> <p>○知っている冒険物語の題名やストーリーを教え合ひましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が読んだ本やゲームなどについて、どんなお話なのかを出し合わせるを通して、みんなで内容を共有し、冒険物語の楽しさを感じさせる。  <p>題名と、一言で言うところのお話。後に拡大して揭示することで、物語の構想を考えたときの支援に使うことができた。</p> <p>○この地図を使って学習したいことを出し合ひましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の「たから島」の拡大地図を提示し、学習したいことについて考えを出し合わせる。始めは考えを広げさせ、徐々に集約し、順序を考えさせていく。 ・みんなで学習のゴールを確認し、ノートに書かせる。  | <p>・冒険物語について自由に出し合い、題材に興味を持っている。(観察・発言)</p> <p>学習したいことを出させる。国語科で学習したことが生きている。</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <p>4 学習計画を立てる。 (自分で考える⇒出し合う⇒内容を吟味する⇒順序を考える)</p> <p>黄色や白のカードは、前単元で使用したものの。 一人が発言して1枚を板書に使うと、児童の思考は他に使えるものがないかと、考え始めることに向かった。既習事項とつなぐ意識付けになった。</p> | <p>○ゴールにたどり着くために、どんな学習活動が必要か考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、必要だと思う学習を自分で考えさせ、ノートに書かせる。 ・次に、児童が出し合い、つないでいく考えを、板書で整理する。前単元での既習事項が発言に出てきたら、板書に取り入れる。 ・最後に、必要がないことを省いたり、順序を考えたりしながらナンバリングをする。 ・ノートに学習計画を書きとらせ、これからの学習の見通しを確かめさせる。 | <p>・既習事項を想起しながら、物語の創作のために必要な事項や学習活動の順序を考えようとしている。(発言・記述)</p> |
| <p>5 本時をふり返り、次時への見通しをもつ。</p> | <p>○ゴールや計画を立てたふり返りをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間があればノートに、なければペアで伝え合った後、全体で共有させ、これからの学習への意欲付けを図る。 | |



この学習活動のポイント 国語科の単元と単元をつなぐカリキュラムマネジメント

① 前単元（既習事項）と本単元をつなぐ

前単元（読む）

本単元（書く）

「組み立てをとらえて、民話をしようかいしよう」⇒「組み立てにそって、物語を書こう」

組み立てをとらえる（起承転結）

- ①起 始まり
- ②承 出来事（事件）が起こる
- ③転 出来事（事件）が解決する
- ④結 むすび

物語の設定をとらえる

いつ・どこで・だれが（登場人物）大きな出来事

組み立てを考える（起承転結）

- ①起 始まり
- ②承 出来事（事件）が起こる
- ③転 出来事（事件）が解決する
- ④結 むすび

物語の設定を考える

いつ・どこで・だれが（登場人物）大きな出来事

